

事務事業評価シート

事業種別	継続	補助	事業類型	施設の管理・運営	1次評価のみ対象分
------	----	----	------	----------	-----------

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
82		交流拠点施設維持管理事業	会計	01	一般会計
基本施策	66	文化・スポーツ施設などの公共施設を利用しやすくする	款	02	総務費
施策	2	指定管理者制度の導入	項	01	総務管理費
			目	06	企画費
			細目	104	交流拠点施設維持管理事業
			細々目	01	交流拠点施設維持管理経費
基本計画該当頁	208	担当部課	コード	700100	評価者氏名
行革大綱の重点事項番号	2	名称	大山田支所総務振興課		山本 清
					連絡先
					47 - 1150 (内線) 230

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何が、誰が)	成果(どうなのか)
	交流拠点施設(伊賀の国大山田温泉「さるびの」)の利用者、従業員、地域住民 (対象件数)	施設の利用者は、都市部及び農村部の地域間交流、子どもから老人までの世代間交流ができ、温泉の効果及びスポーツ施設利用により健康の増進が行える。率の高い地域の高齢者を雇用し、従業員は、生きがいがある。地域住民は、施設周辺の景観整備、また転作田や休耕田を利用するなど、企画、実行し、やる気産まれる。
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等
		温泉法、公衆浴場における衛生等管理要領、伊賀市温泉活用施設の設置及び管理に関する条例
本年度事業内容	交流拠点施設(伊賀の国大山田温泉「さるびの」)の運営及び管理	状況変化等 伊賀の国大山田温泉「さるびの」は、オープン以来、良質の「湯」と恵まれた自然、大山田温泉福祉社の試行錯誤の運営努力によって、現在まで順調に経営を行い、たくさんの人々に愛される施設になっている。しかし、平成11年4月にオープンし、予想以上の利用があり、施設の許容範囲をはるかに超え、平成16年10月には、浴室の増築を行った。そして、予想以上の施設の利用頻度で、施設の傷みが多くみられ、その度に修繕を重ねている。今後、さらに施設の修繕が見込まれる。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
年間開館(営業)日数	日	実績 313	目標 315 実績 315	317	320
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	(大山田温泉福祉社)
2 配置(予定)人員	0 人
3 年間運営費	0 千円
4 市内の類似施設	鳥ヶ原温泉やぶつちの湯

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
温泉入浴者数	施設の適正な運営及び管理やサービスの向上は、温泉入浴者数に反映されると考え、本指標を採用。	人	目標 - 実績 262,568	目標 275,000 実績 248,004	278,000	278,000
経常利益	施設の適切な維持管理を行い、効率的に運営し、支出の減少(経費削減)に努めたかは、経常利益に反映されると考え本指標を採用。	千円	目標 - 実績 26,940	目標 32,045 実績 16,437	35,000	35,000

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	3	市民の地域間交流、健康の増進、雇用についての民間サービスを補完するため。
有効性	2	利用者は減少しているが、従業員の地域雇用や、施設周辺地域の活性化になっているため成果に繋がっている。
達成度	4	事故休館はなく、事業実績の目標を達成した。
効率性	3	施設の修繕が多く、経費も増加している。今後は、年度別の修繕計画を立て、コスト削減に努める。

総合評価 事業の方向性

C	変更	改善についての取り組み 今後、さらに施設の修繕が見込まれ、財政的に厳しいということもあり、年度別の修繕計画を立て、優先順位や必要性を考える。よって、より利用しやすい施設になり、無駄な経費を削減できる。なお、オープン以来、温泉入浴者数は年々減少傾向にあるので、入浴者数を増加させるため、関西圏や中部圏へ積極的に集客の広報活動を行う必要がある。
---	----	---

年度	進捗状況	平成17年度 決算内容				平成18年度 決算内容				平成19年度 計画内容				平成20年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)	事業内容	数量	単位	金額(千円)
委託	↔	手数料委託料	17		1,000	修繕料			1,732	修繕料			575	修繕料			575
工事	↔					手数料			73								
						工事費			998								
進捗率(%)		事業費計(A) 1,017				事業費計(A) 2,803				事業費計(A) 575				事業費計(A) 575			
事業投入人員		人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	1.0	人	7,200	人件費(B)	1.0	人	7,200
フルコスト(A)+(B)		8,217				10,003				7,775				7,775			

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	金額
Aの財源内訳	国庫支出金	1,017
	県支出金	
	地方債	
	受益者負担	
	その他	
備考	特定財源の名称・補助基本額・率	1,017
	地方債の区分と充当率等	1,017
	計	1,017
		2,803
		575
		575